

## 第 49 回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例観察会資料（平成 26 年 10 月 18 日）

前回（9 月 20 日）の定例会、は私の判断が甘く、ツバメの大群が既に渡去した後でした。昨季も芳しくなかったと記憶しています。大群の渡来時期は日照時間や餌となる昆虫の発生状況の影響を受けていると思います。以下、ツバメに関するきっちりした記録はとっていないのですが分かる範囲で、ここ 5 年間の大群の渡来時期等を列挙して見ます。

- \*2010 年（平成 22 年） 8 月 29 日定例会・数万羽。9 月 7 日・数万羽。9 月 20 日・大群いない。（ねぐら・第 1 水門北側）
  - \*2011 年（平成 23 年） 9 月 8 日・2 万羽。9 月 10 日（日を変えての定例会）・2 万羽。9 月 27 日・2 万羽（ねぐら・北水門北西側。3 月 11 日に東日本大震災あり。渡来数減少）
  - \*2012 年（平成 24 年） 8 月 25 日・2 万羽。9 月 13 日・3 万羽。9 月 15 日（定例会）・数万羽。9 月 21 日・数万羽。9 月 27 日・大群いない。（ねぐら・オオセッカの東側繁殖地）
  - \*2013 年（平成 25 年） 8 月 29 日・数少なくねぐらの所在は不明。9 月 10 日・1 万羽。9 月 19 日・1 万羽。9 月 21 日・2 万羽。9 月 24 日・数万羽。9 月 28 日・大群いない。（ねぐら・ヨシ原浄化施設東端。このシーズンの昆虫の発生状況は例年に比し発生が早く終期も遅かった。）
  - \*2014 年（平成 26 年） 9 月 2 日・2 万羽。9 月 7 日・数万羽。9 月 12 日・大群いない。（ねぐら・ヨシ原浄化施設東端。早期に渡去したのは、気象が不順で夏の日照時間が短かった？ 昆虫の発生状況は地域でバラバラだったが普通、セミが多かったようです。）
- 来期は定例会を早めましょう。

ねぐら入りするツバメにショウドウツバメも混じっていると思っていましたが、ショウドウツバメはツバメの大群が去った後も、多数が遊水地内を飛び交い南下していています。混群にはならないのかもしれませんが。

**鳥便り** 6/22 オオセッカの繁殖地でオオセッカ多数が囀り、ササゴイ 1 羽、ヨシゴイ 3 羽、中央エントランス南でトラフの巣立ちビナ 3 羽（一色）。6/28 ヨシゴイは 4 つがい？サンカノゴイ 1 羽、何時も同じ場所に降り、しばらく出て来ない（小倉、樽見、一色）。7/2 オオセッカ、谷中橋上手右岸で囀り 2 羽（一色）。7/12 コヨシキリ餌運搬（一色）。7/15 谷中橋上手にアカガシラサギ（真瀬）。7/23・8/8 オオセッカ、よく鳴いている（一色）。9/2 子供広場近くでカラスを食うオオタカ幼鳥（渡辺）。オオセッカ、囀っている。ツバメねぐら探し。ねぐら入り 2 万羽。（一色）。9/7 ツバメ、ねぐら入り数増えて数万羽（関口）。9/12 谷中橋上手にムラサキサギ（真瀬）。地内水路上空を旋回するツバメチドリ。ツバメの大群いない。（一色）。9/15 北水門近くの展望台から、ツバメの群れ 1000 羽（五十畑）9/19 谷中橋上手右岸にノビタキ 3 羽。（一色）。9/20 [定例観察会] ツバメの群れは約 1000 羽。ヨシ原浄化施設上空をチュウヒ、ミサゴ各 1 羽。9/24 カケス 10~20 羽（小峯）。9/25 レンタルサイクル前の木立にエゾビタキ、ユサメビタキ（五十畑昌子）。10/2 湿地再生地にアオアシシギ 4 羽（木村）。10/3 ショウドウツバメ多数が旋回しながら南下。ノビタキ数羽、頭の黒いもの 2 羽。（一色）。10/5 ゴルフ場付近に赤色型ツツドリ 2 羽、その他 5 羽（小倉）。10/8 子供広場にツツドリ 2 羽（五十畑）。

\*渡良瀬遊水地保全・利活用協議会関係。（5 月 28 日・部会準備会・一色）。（7 月 25 日第 2 回協議会及び第 1 回合同部会・提言書提出・関口、一色）。（8 月 27 日第 2 回合同部会・提言書説明・木村、一色）。（9 月 24 日・第 3 回同道部会・関口、一色）。

